

2025.8



エンヤマツツジ(町花)

かみのくに

第218号

議会だより



主な内容

6月定例会で決まったこと

一般会計補正予算など 2P～3P

政務活動費報告 3P

ここが聞きたい一般質問に5人が登壇 4P～13P

委員会活動

(議会広報発行に関する事など) 14P

議会の動き 14P

上ノ国小学校
人権の花運動

第2回 定例会

第2回定例会は、6月3日（火）に開催されました。

町長から提案された案件は、令和7年度各会計補正予算をはじめ、条例の一部改正など17件で、議会からは、意見書の提出など3件が、いずれも原案のとおり可決されました。

審議して決まったこと

専決処分

■令和6年度一般会計補正予算

健康づくりセンター大規模改修工事請負費など、6484万1千円を減額し、予算総額は64億9463万8千円となりました。

〈全員賛成で承認〉

■令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算

普通旅費など5万1千円を減額し、予算総額は5億8535万円となりました。

〈全員賛成で承認〉

■財産の無償譲渡について

公設光ファイバーケーブル設備の老朽化に伴い設備更新費用の増大が今後見込まれることから、

財政的負担等の軽減を図るため東日本電信電話株式会社へ無償譲渡するものです。

〈全員賛成で承認〉

条例

■上ノ国町いじめ防止対策推進条例の制定について

いじめの未然防止、早期発見、早期解消その他いじめに係る対策を総合的かつ効果的に推進するにあたり、いじめ防止対策推進法に基づき、新たに条例を制定するものです。

〈全員賛成で可決〉

■上ノ国町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の改正

■上ノ国町職員の育児休業等に関する条例の改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が10月から施行されることに伴い、改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■上ノ国町税条例の改正

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■上ノ国町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正

■上ノ国町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

子ども子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令が公布されたことに伴い、改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■上ノ国町国民健康保険税条例の改正

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

補正予算

一般会計

デマンドバス運行業務委託料など、4088万1千円を追加し、予算総額は73億4085万8千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

特別会計

◆国民健康保険

国民健康保険システム改修業務委託料432万6千円を追加し、予算総額は6億3407万9千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

◆後期高齢者医療

後期高齢者医療システム改修業務委託料170万3千円を追加し、予算総額は9443万7千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

契約の締結

■町道勝山中須田線固定式防雪柵設置工事

○契約の金額

9240万円

○契約の相手方

株式会社小林建設

〈全員賛成で可決〉

■宮越橋長寿命化修繕工事

事

○契約の金額

9229万円

○契約の相手方

株式会社若狭組

〈全員賛成で可決〉

■公営住宅中崎団地建替工事（4号棟）

○契約の金額

1億4833万5千円

○契約の相手方

株式会社小林建設

〈全員賛成で可決〉

■公営住宅中崎団地建替工事（5号棟）

○契約の金額

1億3603万2千6

百円

○契約の相手方

京谷建設工業株式会社

〈全員賛成で可決〉

特別委員会の設置

上ノ国町議会における議員報酬の見直しについて、必要な事項を調査・研究するため、全議員で構成する議員報酬調査特別委員会を設置しました。

意見書

■地方財政の充実・強化に関する意見書

■ゼロカーボン北海道の

実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

〈全員賛成で可決〉

意見書を関係機関に提出しました。

議員辞職

上ノ国町議会議員、久末善輝氏から一身上の都合により、4月30日付けで議員辞職したい旨の辞職願が、4月11日に議長へ提出されました。

地方自治法第126条但し書きの規定に基づき、議長において4月30日付けで上ノ国町議会議員を辞職することを許可しました。

令和6年度政務活動費収支報告

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究などに要する経費として、条例により月額10,000円とし、年間120,000円を交付しています。また、「政務活動に要する経費」を定め、必要に応じ調査を行うなど、使途の透明性の確保に努めています。なお、各議員の報告書はホームページで公開しているほか、役場に備え付けてありますので、希望する方は閲覧できます。

議員名	交付額	支出額	返還額	活動内容
小 間 均	120,000	96,073	23,927	長野県上伊那郡宮田村視察調査など
岩 田 靖	120,000	96,317	23,683	長野県上伊那郡宮田村視察調査など
仲 澤 嘉 彦	120,000	95,482	24,518	長野県上伊那郡宮田村視察調査など
川 島 忠 治	120,000	112,751	7,249	議員活動に必要な図書、資料等の購入や事務費
久 末 善 輝	120,000	9,972	110,028	議員活動に必要な図書、資料等の購入
福 原 賢 孝	120,000	133,478	0	洋上風力発電事業に係る視察調査など
片 石 鉄 彦	120,000	13,272	106,728	議員活動に必要な図書、資料等の購入
花 田 英 一	120,000	9,972	110,028	議員活動に必要な図書、資料等の購入
京谷作右衛門	120,000	9,972	110,028	議員活動に必要な図書、資料等の購入

ここが聞きたい

いっぱん質問

忠魂祭の今後の方向性は

▼川島 忠治 議員

規模を縮小し継続する方向で検討

▼工藤町長



かわしま ちゅうじ 川島 忠治 議員

質問

忠魂祭典は、戦没者の慰霊を目的とした式典で、遺族会も解散し、現在では参列者も減少しています。

昨年12月定例会での質問に対し、「終戦から80年という節目を迎えることから、今後の在り方について検討を進める」などの答弁をいただいておりますが、次の点について伺います。

①忠魂碑保存奉賛会とは、どのような団体で構成され、会合を開いてい

るのか。

②戦後80年目という節目を機に、町民誰もが参加できる、国や道などが実施している戦没者追悼式のように宗教形式を伴わない形での実施を検討することが求められているのではないか。

答弁

忠魂碑保存奉賛会は、各町内会を構成員として組織され、今後についての協議は、今年度の忠魂祭典の実施以降に行う予定です。

また、これまで忠魂碑を中心とした慰霊祭を行ってきた経緯があり、今後についても、時勢に合わせて規模を縮小する形で忠魂祭典を継続する方

向で検討していますが、忠魂祭典への参列者が年々減少している現状を踏まえ、町単独での戦没者追悼式の実施については、現時点で検討していません。

再質問

今年の3月連合町内会でも問題提起もなく、連合町内会三役に経過報告や、相談する必要もなかったのか。

また、忠魂祭典の財源は各町内会から会費を徴収し取り組んでいます。が、忠魂祭典が町や町内会から独立し、町民が自主的に運営できるようなことを考慮し、大いに議論をすべきと思います。

大坂住民課長

連合町内会への調整を図ることに関しては、大きな変更がある場合にということで、忠魂祭典のあり方についての提起は

してこなかった状況であります。

また、町民が主体的に実施できるような態勢についても、構成員である町内会と協議を進めた上で、実施主体を連合町内会、もしくは民間団体に移していくことも、今後考慮して進めなければと思っています。

再々質問

ある町内会でも、神社に対する維持負担金という問題も議論されてきている。

この忠魂祭も少し違った角度で自主的に運営出来るような方法も、連合町内会で議論する場を持つて欲しい。

大坂住民課長

今年度の式典終了後、連合町内会に対して会費の問題、今後のあり方について提起し協議していただく。

火葬場休憩所の環境改善について

▼川島 忠治 議員

利用状況に即した椅子等を配置する

▼工藤町長

質問

火葬場の休憩所（和室2部屋）は、テーブルと椅子の高さのバランスが悪く、足腰の弱い方々への配慮として、低い椅子を多めに用意するなどの対応が必要であると考えますが、所見を伺います。

した椅子等の配置を実施します。

再質問

どのような椅子等の配置を検討し、時期はいつ頃を予定しているのか。

高年齢者の利用が増加している状況を踏まえると、利用者の実態に配慮した整備が必要であり、今年度中に利用状況に即

答弁

高年齢者の利用が増加している状況を踏まえると、利用者の実態に配慮した整備が必要であり、今年度中に利用状況に即

大坂住民課長

高年齢者向けの低い座椅子、テーブルを含めて検討し、時期については、町内各施設にある余剰分のものも含めて検討し、早急に準備をしたい。

高齢者の投票環境整備に向けて

▼川島 忠治 議員

送迎バスの運行を検討する

▼古館選挙管理委員長

質問

高齢者の方々は、自分の住む地域での投票を望んでいることから、本来ならば移動期日前投票所の設置が望ましいのですが、来年の町長選挙において、期日前投票のため、役場への送迎を実施していただけるようお願いしたい。

答弁

投票者の約4割が期日前投票所で投票しており、そのうちの約4割を65歳以上の高齢者が占めている状況です。

このように、高齢者の期日前投票所での投票率が高いことを踏まえ、来年の町長選挙においては、送迎バスの運行形態などを含めた実施方法を検討します。

再質問

送迎バスは、高齢者が乗り降りするときに、足

腰に負担にならないようなバスを考えているのか。

また、送迎バスはどの地域の範囲までを検討され、期日前投票期間は短いので山方面、海方面を最低でも2回ほどと考えていますが、いかがか。

新谷書記長

福祉バスや10人乗りのハイエースを使い、乗り降りに不自由な高齢者の方々には、足を上げる台を用意することを考えています。

期日前投票は、4日間という短期間であり、走らせても山方面1回、海方面1回になるかと思いますが、具体的な部分を今後検討したい。

再々質問

山方面、海方面で送迎バスが来て投票するとなったら、上ノ国や北村の方々も利用できないかと

要望があったら、どのように考えますか。

新谷書記長

中心部の方々は、投票所が近くにありますが、今までもおり投票所において投票していただきたいが、そういった要望があるとするならば、考えていかなければいけない案件であると認識しています。

議会を傍聴してみませんか？

☆次回の定例会は9月です☆

手続きは簡単！傍聴者名簿に住所と氏名を記入するだけです。

洋上風力発電稼働後の津波対策について

▼福原 賢孝 議員

法定協議会等の場で議論したい

▼工藤町長



ふくはら よしたか 議員
福原 賢孝

質問

①再エネ海域利用法に基づき岩宇・南後志地区沖の法定協議会で、北海道電力は「地震や津波の発生時に洋上風力が倒れて漂流物となる可能性をあげ、泊原発電の冷却水取水や防潮堤の健全性確保を理由に周囲7キロの海域に洋上風力を設置しないよう求める」要望事項をあげました。

檜山沖は地元協議が整い、今年度中には「促進区域」に指定され、檜山沖の洋上風力は3キロ以

内の沿岸に並びますが、北海道電力の要望事項についての見解を伺います。

②地震や津波で洋上風力が倒れて漂流物となり、主要国道が巨大な羽根などでふさがれれば、復旧、復興に大きな支障が出るのが想定され、大型風車設置・稼働前に議論を深め、もっと沖合に設置するなどの検討も必要と考えますが見解を伺います。

答弁

①北海道電力があげた「要望事項」については、泊原予力発電所の安全性確保の観点から出されたものであると認識しています。

②檜山沖で計画されている風力発電設備の設置方式は着床式であり、技術的及び経済的な理由から水深60メートルより浅い海域に設置されるのが一般的とされ、檜山沖は

海底地形が複雑で、水深が場所によって大きく異なり、設置場所の距離調整が容易ではない状況にあることから、今後、法定協議会等の場で議論したい。

日本海沿岸における地震・津波対策について

▼福原 賢孝 議員

早期避難の重要性について周知を図りたい

▼工藤町長

質問

3月12日の北海道新聞の記事によると、北海道は、北海道南西沖などの断層でマグニチュード7を越す巨大地震で津波が発生した場合の被害想定をまとめたと報じられ、

震・津波対策について、見直す点なども多々あると考えますが、所見を伺います。

答弁

報道された内容は、地震発生後直ちに避難を始める人の割合が低く、過去の統計データ等に基づきマクロ的に算出されたものであるため、一つの指標として受け止めるものであります。また、「避難しても無駄」と住民に誤

解や諦めが生じないように、早期避難の重要性について周知徹底を図りたい。

また、本町の沿岸部では、避難道路や階段が整備されていますが、避難施設の維持管理や必要に応じた改良工事などに努めるとともに、避難訓練を定期的に実施することで、住民の避難意識の向上と生命を守る体制を強化したい。

再質問

令和5年に地域防災計画が策定され、津波ハザードマップを更新した点も踏まえ、年度が変わる度に防災計画等も色々な話し合いを持たれるべきではないか。

新谷総務課長

今年度は、汐吹や扇石の避難階段を見直す取り組みを進めていく部分もありますので、今後また

北海道の方から津波、地震についての情報が順次公表されると思います
が、更新できるものに関して検討を進めたい。

新谷総務課長

ッドの備蓄について取り組んでいただきたい。

再々質問

能登半島沖地震では、床に直接寝ることで床からの冷気で体調を崩す人が多くいたことから、厳冬期の防寒対策や簡易ベ

答 弁

各事業者が実施する環境影響評価手続において、調査・予測・評価が進められ、町としても地域住民や事業者と連携し、環境保護と地域振興の両立を目指します。

また、事業想定区域が重なる計画は、一部の関係する事業者間で協議が進められていると聞いていますが、現時点では、町がその調整に関与する予定はありません。

再質問

湯ノ岱地区の一带は道南のブナ林の中心地であり、風車作業道や大型機材の設置で木々が大量に伐採されると山の保水力が損なわれ、泥水の発生確率が高くなり漁業被害も想定され、さらに作業道からクマや鹿も容易に人里に下りやすくなり、町民への危険性や農業への影響が危惧されます

が、これらのことをどのようにに考えているのか。

谷口政策推進室長

環境影響評価手続は各事業者ごとに進められ、河川の濁り、作業道の状況はそれぞれ事業者がアセスメントをしていくような状況になっていますので、各住民等に公表しながら順次議論されていくものと思います。

谷口政策推進室長

推進の重要性と環境保全の両立が必要だからゾーニングマップ等の作成を早急に整備すると答弁をされましたが、ゾーニングマップはいつ頃出来上がるのか。

今年度中の策定を予定していますが、まだ事業者選定等行っていないので、事業者選定後に委員会等開催し進めていくことになりますので、完了時期は申し上げますが、今年度中に策定を考えています。

再々質問

昨年12月の定例会で、ゾーニングマップを作成すべきとの提案をし、再生可能エネルギーの普及

移住対策について

▼福原 賢孝 議員

関係機関と連携を図り取り組みたい

▼工藤町長

質 問

政務活動調査で移住・空き家対策について青森

県三戸町役場を訪問しました。

青森県は、6圏域に分

環境保護と地域振興の両立を目指す

▼工藤町長

質 問

現在、4事業者が湯ノ岱地区周辺で陸上風力発電計画を公表し、最多で計97基の大型風力発電が立つこととなります。

このうち3つの計画は、事業想定区域が重なり、立地場所が競合する場合は事業者間で協議して決

めることになると報じられていますが、地域住民や動植物に対する影響等、町としてどのような考えか伺います。

また、事業想定区域が重なるこれらの計画に対して、町として調整等の立場が求められることがあるのか。

かれてそれぞれを紹介する移住パンフレットなどにより、きめ細かな情報提供がされています。

三戸町については、八戸圏域連携中核都市圏の一部で、「八戸都市圏スクラム8」の移住パンフレットを作成しており、先輩移住者の多様な生活スタイルや、Uターン者、東京、大阪、海外からの移住者が紹介されています。

また、各自治体の支援内容や仕事、住宅、結婚、子育てなど地域の魅力もふんだんに掲載されています。

上ノ国町の魅力UPのため、内容を充実したパンフレットを作成すべきと考えます。そして「八戸都市圏スクラム8」のような檜山圏域7町の魅力を網羅したパンフレットも作成していただきたいと考えますが、見解を伺います。

答 弁

全国的な人口減少が続いている中で、本町においても将来的な人口減少は避けられない現状となっており、移住・定住の促進に向けて、内容を充実させたパンフレットの作成は有効であると考えています。

これまでも「子どもを産み育てやすい環境づくり」を柱に、経済的負担軽減を図り、地域の自然環境や産業構造、生活環境などを紹介したパンフレットを令和5年度に更新していますが、移住希望者に対してタイムリーな情報を提供できるよう、工夫を重ねたい。

また、本町及び檜山圏域7町の魅力を伝えるためのパンフレット作成は、地域振興や移住促進に向けた有効な手段であると考え、関係機関とも連携を図りながら取り組みを進めたい。

生成AIについて

▼福原 賢孝 議員

効果的な活用に向けて取り組みを進めたい

▼工藤町長

質 問

①総務省の調査で、昨年12月時点で市区町村の約3割が生成人工知能（AI）を導入していることが明らかになりました。

今後の導入予定や検討中を含めると半数を超えるとのことであり、上ノ国町の生成AIの実態について伺います。

②生成AIの活用については、情報の偏りや偏見などが反映されるリスクがあるとの指摘もあります。反面、町の技術系職員不足を補える利点も考慮できると考えます。AIを活用した効果的な自治体運営について、所見を伺います。

答 弁

①職員個々で活用している実態が多く、その活用方法や好事例などを職員間で共有を進めることで、業務の効率化を図っているところであり、効果的な活用に向けて取り組みを進めたい。

②生成AIを導入する際には、運用上のルールや適切な監視体制を整えることが重要であり、AIによるデータ分析や業務支援は、職員不足を補う一つとしても有効な手段になると考えます。AIが得意とするデータ処理や分析を活用し、人間が持つ創造性や判断力を組み合わせることで、効果的かつ効果的な行政運営を実現したい。

「ナチュラル・ビズ・スタイル」実施 (年間を通した働きやすい服装)

脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮した取り組みの一環として、気象状況や執務環境等に応じ、**通年でノーネクタイ等の快適で働きやすい服装で会議等（本会議、委員会など）に出席するナチュラル・ビズ・スタイルを実施します。**



地域みらい留学について

▼福原 賢孝 議員

進学検討や再訪意識の醸成に繋げたい

▼上野教育長

質問

政府は、今年度から高校授業料無償化を決定しました。

上ノ国高校は国内留学制度の「地域みらい留学」を2027年度からの導入を目指し、今年度から全国組織に参加するわけですが、町内外問わず生徒の親御さん方は、ほとんどが働いています。親御さんの負担軽減を図り、上ノ国高校を希望する生徒の皆さんのためにも給食を提供するべきと考えます。

①高校授業料無償化により、函館や札幌などへの進学の手ドルが下がり、地元離れが進む可能性が危惧され、昨年度とは教育環境が激変するこ

とになり、私の提言が上ノ国高校の存続の一助にもなり、「地域みらい留学」にとっても、親御さんの負担を軽減し魅力あるポイントになると思います。

②「地域みらい留学」導入決定前の今年度は、どのように都市圏でのPR活動やイベント、説明会開催等の企画を立てているのか伺います。

答弁

①上ノ国高等学校においては、地域学校協働活動による魅力ある教育活動が進められており、道外の中学生及び保護者に対し、最もアピールすべき特長であると認識しています。

加えて、お弁当は親子の絆や互いへの思いやりを醸成するものであるという考えに変わりはなく、そういった機会を無くし、阻害するべきではないと考えています。

②オンラインによる学校説明会や東京都で開催される高校進学合同説明会に参加し、学校PR活動を行うほか、これらの活動を通し当校に興味関心を持った道外の中学生を本町へ実際に招き、オープンスクールへの参加をはじめ、本町ならではの体験活動や地域の方々の交流の機会を提供することで、学校や地域の魅力を実感していただき、進学検討や再訪意識の醸成に繋げていきたい。

再質問

無料給食制が導入されれば、働く親御さんたちの家計と心身への負担が

軽減され、栄養バランスのとれた献立を提供することで、生徒の健康と学習能力の向上も期待できるのではないかと。

給食を通じて他人に対する思いやりや道徳観、愛情の醸成が反対に促進される可能性があるのではないかと私は考えます。

無料給食制を導入することで、一層他町からの生徒が進学先に上ノ国高校を選択する範囲が広がるのではないかと。

上野教育長

上ノ国高等学校の卒業式での、卒業生代表による答辞には、卒業生一人ひとり3年間の親御さんに対する思いが綴られており、皆、異口同音に3年間お弁当ありがとうという親御さんに対する感謝を述べ、目に涙する多くの親御さんが会場にいました。

長いようで短い3年間、親に対する感謝や敬意の気持ちを生涯忘れることなく子どもたちの記憶に残り続けるものだと思います。

本町では、平成21年から18歳までの医療費無償化をはじめ、平成26年からは保育料及び服飾費、小中学校の学校給食費、学童保育の負担金等の無償化を順次行い、令和4年からは出生祝い金制度を設けて、子育て支援策を充実してきています。

さらに、上ノ国高等学校の生徒に関しては、通学費の助成、見学旅行費の助成、海外研修事業への助成、令和6年度からはブリティッシュヒルズ英語研修に関する助成、学力向上推進事業への助成等行ってきたところであり、多くの市町村と比較しても優位性はあるものと考えています。

農業経営維持強化支援事業について

▼仲澤 嘉彦 議員

補助の目的は達成されたものと判断

▼工藤町長



なかざわ よしひこ
仲澤 嘉彦 議員

質問

多くの小規模な農業経営者は高額な農機具の購入がままならず、農作業の目的や使用頻度から、安価な中古農機具の購入は、農業経営を圧迫せずに効率化を図ることが可能であると多くの農業者が要望していますが、中古の農機具は補助対象外であります。

農業者からの強い要望を踏まえ、中古農機具の購入を補助対象とする制度改正の実施について、所見を伺います。

答弁

中古農業機械については、昨年度まで補助対象としていましたが、実績としては、令和2年度までは毎年10件以上の申請件数で推移していたところ、令和3年度が3件、令和4年度が10件、令和5年度が3件、令和6年度が1件と大きく減少しています。

このような実態を踏まえ、当該補助の目的は達成されたものと判断し、令和6年度末をもって終了したことから、昨年度までと同様な中古農業機械への補助については考えていません。

再質問

高額な新品の農機具で

はなくても安価な中古の農機具を使用することで、農業経営にとってプラスの面が多く、高齢などから離農される際にも継承できる。

一部の農家からではあります。中古が補助対象外となったことに対して、購入したい農機具があるとの声が寄せられ、需要があるものと思われ、ますが再考する考えはないか。

工藤町長

ある経営者から、後継者に渡したいが機械が古く安心して受けることができないという深刻な話を受けた経緯などもあり、平成24年から補助をしましたが、どんな制度でも財政的な面からも際限なくやれません。財政がついて行けないという現状を理解してほしい。

町道の未舗装道路について

▼仲澤 嘉彦 議員

令和8年度予算で実施する方向で検討

▼工藤町長

質問

町道の未舗装道路は、複数路線にわたり存在し、特に降雨時や冬季節間は、排水設備もなく悪路となっていることに加え、下水道マンホールに

段差があるなど、生活環境や通行に支障を及ぼしており、周辺住民からは、舗装整備を望む声が多く寄せられています。

町道大潤漁港線の一部未舗装道路は早急に舗装整備が必要であると考えますが、所見を伺います。

答弁

町道大潤漁港線の舗装工事については、本年度の実施を予定していましたが、予算の確保状況や工事全体の発注件数を考

慮した結果、令和8年度予算で実施する方向で検討しています。

今後においても、交通量が多い道路や通学路、また緊急車両の通行が必要となる道路を優先しながら、限られた予算の中で効率的かつ計画的な整備を進め、地域住民の生活環境の向上と、安全で快適な交通環境の確保に努めます。



町道大潤漁港線未舗装道路

風車の事故防止対策と安全対策について

▼小間 均 議員

安心して暮らせる環境づくりに取り組む

▼工藤町長



こま ひとし 議員
小間 均

質問

秋田県内で起こった風車ブレード落下事故で、男性が死亡するという痛ましい事故がありました。

本町には多数の風車が道路沿いなどに設置されており、住民が不安に思っています。

各自治体では、事故防止策や安全対策を講じているようですが、人の命も奪われている事故が起きている以上、これらの対策を講ずる考えがあるか、所見を伺います。

答弁

本町には多数の風車が設置され、住民の皆様が不安を抱えていることは、十分に認識しています。

風力発電設備の設置や安全管理は、町が直接的な法的権限を有するものではなく、電気事業法など国の定める基準に基づき、事業者が適切に設置・管理を行うこととなっています。

町としては、こうした法的権限の有無にかかわらず、住民の皆様から風車の異音や不具合等の通報を受けた際には、速やかに事業者へ連絡するなど、できる限りの対策を講じ、関係機関と連携しながら、住民の皆様が安

心して暮らせる環境づくりに向けて、全力で取り組みます。

再質問

道路沿いに近い風車の羽が折れて道路に落下し、車と接触して事故になった場合の責任はどうなるのか。

谷口政策推進室長

小型風車に関しては、電気事業法に基づいて設置、維持管理しているものになりますので、事故等があった場合には、基本的には事業者が責任を負うことになるかと思えます。

また、維持管理に関しても小型風力は、比較的高額な値段で電気が売買されている現状があり、維持管理を万が一怠りますと、売買契約も成立しないという法的措置もありますので、抑止されていることかと思えます。

再々質問

事業者ということは、事故を起こした土地の人ですか。小型風車の場合、土地を売ったら誰が補償するのか詳しくお願いします。

谷口政策推進室長

小型風車は、土地から風力発電設備を含めて同

じ所有者が持っている場合もありますし、借地の場合もあります。風車の事故に関しては、土地の問題というよりは、風力発電設備の問題かと思えますので、責任の所在に関しては風車本体を所有している事業者となるかと思えます。

市街地の熊の出没時の発砲許可について

▼岩田 靖 議員

猟友会や関係機関等と協議する

▼工藤町長



いわた やすひろ 議員
岩田 靖

質問

近年の熊の市街地への出沒が相次ぐ中、市町村の判断で特例的に市街地での猟銃の使用を可能と

することなどを盛り込んだ改正鳥獣保護管理法が成立しました。

しかしながら、実際に市街地に熊が出没した場合、発砲経験がないことで危険が伴い、様々なリスクが考えられ、自治体やハンターに判断の責任を背負わされる事も危惧されます。

町として、どのように取り組んでいくのか、所見を伺います。

答 弁

改正鳥獣保護管理法は、実施に向けた制度整備のため環境省においてパブリックコメントの募集が行われており、集約された意見などを踏まえた具体的な手順や市町村での判断に必要な国のガイドラインが作成されることとなります。

今後、国のガイドラインが示されたら、地元猟友会や関係機関等と連携を図りながら、対応方針について早急に協議したい。

再質問

全国で決められるガイドラインといっても、上ノ国では人家の近くに熊が出没するケースが多いと思います。

国のガイドラインを待

つのでなく、上ノ国町で不安に思っていることをパブリックコメントに意見する側ではないかと思うが、いかがか。

杉野農林課長

北海道、北海道市長会、北海道町村会の3団体で、ガイドラインの緊急猟銃における住民等の安全確保を含めた具体的な実施手順、発砲の判断基準、市町村の責任の範囲、事故等が発生した場合の補償の範囲など、現場で迅速に対応するための必要な事項を明確に示すように要望するということも伺っています。

要望を踏まえたガイドラインに則した形で対応し、問題があるか地元の猟友会等と確認しながら進めたい。

再々質問

上ノ国でも各地区で地形も違いますし、多発す

る地域もあると思います。地区別に上ノ国特有の駆除の仕方についての考えるべきではないか。

杉野農林課長

何よりも住民の命を守るといった観点から、ハン

公共施設の防犯カメラの整備について

▼岩田 靖 議員

治安情勢などを踏まえ柔軟に対応したい

▼工藤町長

質 問

今年の3月4日に国民温泉保養センターに空き巣が侵入し、地域住民の間に不安が広がっています。

この事件により、国民温泉保養センターには防犯カメラが設置されましたが、役場庁舎、健康づくりセンター、総合福祉センター、スポーツセンターといった主要施設に

ターの巡回ですとか、都度防災無線を流す予防的なことはできるかと思いますが、町特有の駆除と言われますと、なかなか難しいと考えますが、今後住民の安全のために、引き続き対策等を講じたい。

とから、犯行の標的となったものと推察されま

す。

本庁舎には警備員を配置しており、その他の主要施設には民間のセキュリティサービスを導入することで、防犯対策を講じています。その他の

公共施設については、多くが住宅地に近く、地域住民の目が大きな抑止効果を持つと考えているため、防犯カメラの設置は予定していませんが、今後の治安情勢や施設の利用状況等を踏まえ、プライバシーの保護に十分配慮しながら、柔軟に対応したい。

は、金銭や貴重品、重要書類などが保管されており、防犯上のリスクが高いと考えられます。予防的な観点からも設置を検討すべきと考えますが、所見を伺います。

このたびの盗難被害は、住宅地よりやや離れた場所に位置しており、住民の目が届きにくいこ

答 弁

このたびの盗難被害は、住宅地よりやや離れた場所に位置しており、住民の目が届きにくいこ

上野教育長

教育委員会所管の主要施設である総合福祉センターやスポーツセンターについては、既に防犯カメラを設置しています。また、両施設とも民間のセキュリティサービス

を導入し、職員や管理人が不在となる夜間や年末年始などにおいても防犯対策を講じています。

再質問

防犯カメラの役割は、多岐にわたることはご承知のことだと思います。

学校や通学路、子どもが集まる公園などにも、防犯カメラの必要性が出てくるのではないかと思います。

さらなる安全性のために、防犯カメラの設置を今一度考えてみてはいかがでしょうか。

佐藤施設課長

防犯カメラの設置は、一定の抑止効果はあると思いますが、報道等見ると無人の販売所に防犯カメラが付いていても盗難に遭う状況がありますので、治安の状況を確認しながら設置の方を検討したい。

上ノ国町民プールの改修について

▼岩田 靖 議員

費用対効果の高い施設の改修を計画したい

▼上野教育長

質問

上ノ国町民プールは、

老朽化が否めない状況にあり、利用者は減少傾向にあるものの、子どもたちにとって楽しみな施設であり、教育的な役割を果たしていると考えます。

また、天候や気温によつては、水から上がった際に寒さを訴える子どももいると聞いています。

近隣の町では、多くが温水プールの整備が進んでいます。

温水化されたもう少し大きなプールであれば利用者の増加につながる可能性があると考えます。

今後のプールの改修に際し、温水化を含めた整備について、どのような考

えか、所見を伺います。

答弁

利用者数は子どもの減少に伴って年々減少していましたが、コロナ禍開けに夜間プールを開設したこともあり、仕事帰りの大人の利用が見られたため、若干ではありますが令和6年度から増加傾向となっています。

近隣町では温水プールの設置を行っており、幅広い年齢層に利用されていると伺っていますことから、今後、上ノ国町個別施設計画に基づいて、利用者の年齢層やニーズを把握した上で、温水化を含めた適切な規模や機能を検討し、費用対効果の高い施設の改修を計画

したい。

再質問

近隣町のプールは、寒さ対策ということで採暖室が設けられ、温水プールで室内も暖かく、子どもたちだけでなく、大人の人も使用していると伺いました。

上ノ国プールも、改修が新たに建てるのかかわりませんけれども必要性をすごく感じます。

塚田社会教育担当局長

プールについては、老朽化が進んでおり改修については考えています。

現在、上ノ国地区と河北地区にあります。将来的に一つに集約した形での改修になると思います。

規模等については、プールの利用者から多く声を伺い、規模についてや温水化も考えていきたいと思っています。

再々質問

厚沢部町の大人の利用者の中には、歩行困難になっている人たちがリハビリに使う例も見受けられ、プールは水深が80センチくらいの歩行専用のプールがあります。

上ノ国町からも厚沢部町まで出向いて、歩行用プールを使用している人も見受けられるようなので歩行用プールの必要性も感じられますので、ぜひ検討していただきたい。

塚田社会教育担当局長

上ノ国プールですと、110センチから130センチの深さであったり、子ども用だと60センチの深さであったり、大人と子どもが利用する深さで大分差があるので、少し歩きやすい深さも利用者のニーズがありましたら検討していきたいと思っています。

委員会活動

閉会中の活動の一つとして、各委員会では所管（所掌）事務調査を行っています。その調査事務の結果報告がありましたので概要を掲載します。

総務文教常任委員会

議会広報発行に
関すること

調査報告 4月21日

5月発行の議会広報については、原案のとおり発行することに決定しました。



議会運営委員会

議会の運営と
議長の諮問事項

調査報告 5月30日

第2回定例会の会期を6月3日の1日間とし、議事日程を決定しました。



全道議員研修会

〔7月8日 札幌市〕

札幌コンベンションセンターにて、議員研修会が開催され、8人の議員が参加しました。研修会では、西南学院大学法学部教授の勢一智子氏が「地方議会における議員の多文化に向けて」について、人口戦略会議副議長の増田寛也氏が「人口減少社会を生き抜くために」と題して、それぞれ講演が行われました。



議会の動き

4月

7日 上ノ国小学校入学式

上ノ国中学校入学式

8日 上ノ国高等学校入学式

16日 檜山町村議会議長会役員会、定例議長会議（江差町）

21日 総務文教常任委員会

全員協議会

23日 道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会総会、研修会（木古内町）

5月

13日 檜山の森づくりinかみのくに

15日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会

北海道町村議会議長会理事会（札幌市）

29日 全員協議会

30日 議会運営委員会

6月

2日 檜山地域振興協議会総会（江差町）

3日 国道277号早期完成促進期成会総会（江差町）

10日 第2回定例会

14日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）

14日 厳島神社例大祭及び魚霊の碑感謝祭

24日 上ノ国町社会福祉協議会定時評議員会

上ノ国町共同募金委員会評議員会

檜山地域振興協議会管内懸案事項要望活動

29日 檜山管内消防団総合訓練大会（函館市・札幌市）